

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—67200

⑬ Int. Cl.³
C 13 F 3/02

識別記号

庁内整理番号
7110—4B

⑭ 公開 昭和58年(1983)4月21日

発明の数 2
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ スティック付き固形砂糖の製造方法およびその装置

⑯ 特 願 昭56—164644

⑰ 出 願 昭56(1981)10月15日

⑱ 発 明 者 大崎豊

久喜市青葉1丁目2—11—205

⑲ 出 願 人 エスピー食品株式会社
東京都中央区日本橋兜町3丁目
32番地

⑳ 代 理 人 弁理士 秋元輝雄 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

スティック付き固形砂糖の製造方法およびその装置

2. 特許請求の範囲

(1) スティック付き固形砂糖の製造において、砂糖を充填圧縮する筒体モールドの下端から挿入する砂糖押上棒の中心に設けられたスティック挿入孔にスティックを挿入し、該挿入孔下端からスティック押上棒を挿入して上記スティックを所定位置に固定し、次いでこの砂糖押上棒を上記筒体モールドの下端から挿入と同時に上記筒体モールド中に少量の水分を含有する粉末砂糖を充填し、次いでこの砂糖押上棒を上昇移動する筒体モールド中で更に押し上げて該筒体モールドの真上の下向きの固定押し棒に筒体モールドを挿入押し上げることにより砂糖をスティックに圧縮固着せしめた後、筒体モールドを下降せしめつつ上記固定押し棒から筒体モールドを下降分離し、

圧縮砂糖の下面に横から水平に出入する固形砂糖受板を挿入して、この受板上にスティックに固着された固形砂糖を受けて下降する筒体モールド中からこれを分離することを特徴とするスティック付き固形砂糖の製造方法。

(2) スティック付き固形砂糖の製造において、粉末砂糖を充填圧縮する上下動する筒体モールドと、この筒体モールド中に挿入する下方からの砂糖押上棒と、上記筒体モールドの真上でこの筒体モールド中の砂糖を圧縮するため下向きの固定押し棒よりなり、かつ上記の下方からの押上棒の中心には貫通するスティック部挿入孔を設け、かつこの挿入孔には、その下方口から所定長の上下動するスティック押上げ棒が設けられ、さらに上記固定押し棒と筒体モールドの間には水平に出入りする圧縮砂糖受け板を設けたことを特徴とするスティック付き固形砂糖の製造装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明はスティック付き固形砂糖の製造方法

およびその装置に関するものである。

スティック付き固形砂糖は公知のものであるが、本発明はこのスティック付き固形砂糖の製造装置および製造方法を提供するものである。この製品は砂糖の部分を手で持つことなくスティックを持ち、コーヒー、紅茶等に入れスティック自身はマドラーの役目を果たすように使用されることは論を俟たない。

本発明のスティック付き砂糖の製造方法および製造装置を第1図によつて説明する。なお第1図において(1)、(2)、……(7)は工程順に於ける説明図である。(1)図は装置の説明図で、1は砂糖aを充填圧縮する、上下動する筒体モールドである。

筒体モールド1の中に密に摺動する砂糖押上棒2はその中心に貫通するスティック挿入孔3を有し、この挿入孔3に密に摺動するスティック押し棒4が上下動する。また上記の筒体モールド1の真上には筒体モールドに丁度嵌合する下向きの固定押し棒5が設けられている。

スティック付き固形砂糖を製造するには先ず砂

糖押上棒2の中心に設けられたスティック挿入孔3にスティックbを挿入し、スティック押し棒4を所定位置に上昇させて固定する。次いで(2)図の様に砂糖押棒2を筒体モールド1の底まで引き下げて、少量の水分(砂糖に対して約2%)を加えた砂糖aを筒体モールド1中に所定量充填する。次いで(3)図に示すように筒体モールド1を上昇させて下向きの固定押し棒5を筒体モールド中の所定位置に固定させると同時に砂糖押上棒2も筒体モールド中を上昇せしめ、(4)図の所定位置まで押上げることにより湿潤砂糖aはスティックbの周囲に圧縮して固着(c)される。次いで(6)図のように筒体モールド1を下降せしめると同時に砂糖押棒2は上昇させ筒体モールド1から砂糖部cを完全に分離する。次いで第2図の説明図に示すような砂糖受板6が横から水平に出し入れ可能に移動し、またこの受板の中心には溝7が設けられている。次いで(7)図のように更にスティック押し棒4を上昇させて砂糖受板6の溝7をスティックbを挟むように砂糖cと砂糖押上棒2の間に挿入し、次い

で(7)図のように筒体モールドと砂糖押上棒を下降させることにより上記受板6の上にスティック付き固形砂糖が第2図の説明図のように受けとめられる。この受板6は水平に移動して乾燥室に導入される。

この様な単位装置は平面的に多数配列された装置とし、自動的に大量生産し得るものである。

なお砂糖押上棒2および上方での下向き固定押し棒5にはテフロン加工して剥離性をよくすることも大切なことである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明のスティック付き固形砂糖の製造方法およびその装置の説明図(1)、(2)……(7)は工程順における説明図)、第2図は砂糖受板の構造と作用を示す説明図である。

- 1 …… 砂糖圧縮用筒体モールド
- 2 …… 砂糖押上棒
- 3 …… スティック挿入孔
- 4 …… スティック押し棒
- 5 …… 下向き固定押し棒

- 6 …… 砂糖受板
- a …… 砂糖
- b …… スティック
- 7 …… 砂糖受板の溝
- c …… 圧縮砂糖

特許出願人 エスビー食品株式会社

代理人 秋 元 輝

同 秋 元 不 二

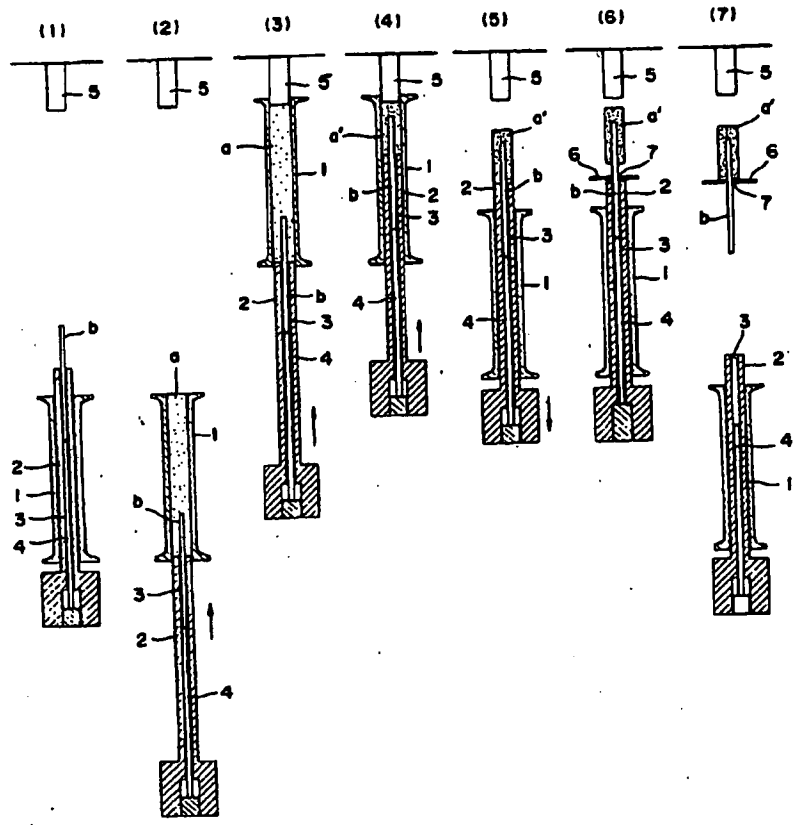


426/134

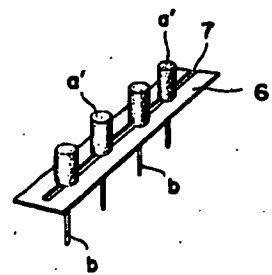
24

特許第58-67200(3)

第 1 圖



第 2 圖



DERWENT-ACC-NO: 1983-52461K

DERWENT-WEEK: 198322

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Stick-handled solid sugar mfr. - by pouring powder sugar
and water into mould. NoAbstract

PATENT-ASSIGNEE: SB SHOKUBIN KK[SBSHN]

PRIORITY-DATA: 1981JP-0164644 (October 15, 1981)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 58067200 A	April 21, 1983	N/A	003	N/A
JP 87000680 B	January 8, 1987	N/A	000	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 58067200A	N/A	1981JP-0164644	October 15, 1981

INT-CL (IPC): A23G003/00, C13F003/02

ABSTRACTED-PUB-NO:

EQUIVALENT-ABSTRACTS:

DERWENT-CLASS: D17

CPI-CODES: D06-E;

----- KWIC -----

Derwent Accession Number - NRAN (1):

1983-52461K

Title - TIX (1):

Stick-handled solid sugar mfr. - by pouring powder sugar and water into mould. NoAbstract

Standard Title Terms - TTX (1):

STICK HANDLE SOLID SUGAR MANUFACTURE POUR POWDER SUGAR
WATER MOULD
NOABSTRACT